ロッキーのHP→www.liverocky.com

PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第11号

2008 6.20 発刊

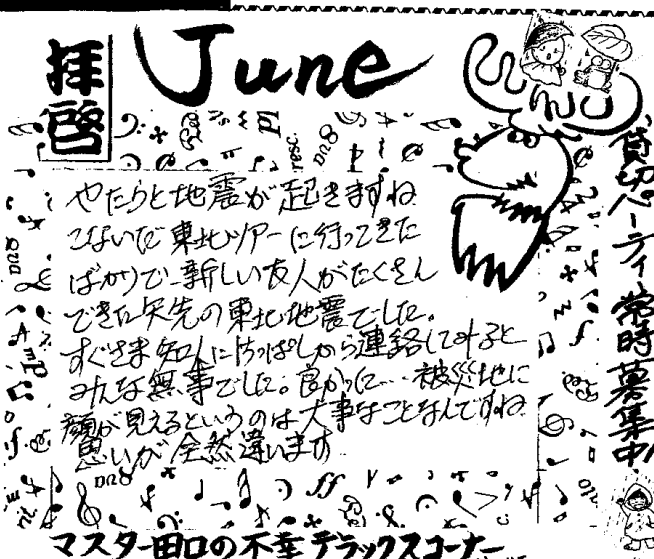
Yeah! マネージャー No.71
ロッキー電話番号の覚え方の巻

作 チーフ井上

ロッキートップには電話番号が2つある

拝啓 June

やたらと地震が起きますね。こないだ東北ツアーに行ってきたばかりで新しい友人がたくさんできた矢先の東北地震でした。すぐさま知人にちょっぱしから連絡してみるとみんな無事でした。良かった…被災地に顔が見えるというのは大事なことなんですね。思いが全然違います。



貧乏パーティ常時募集中！

マスター田口の不幸デラックスコーナー

今回は不幸というより笑える小ネタを2つ紹介します

① スタッフいくちゃんとのポカリ会話の巻

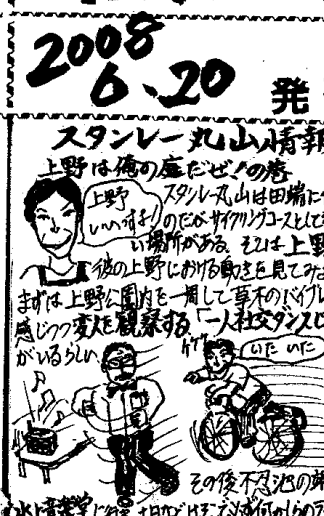
② 受読書の巻…マスターは買物のリストを必ずメモを紙に書くことにしている。ある日そのメモをカウンターに置き忘れていた。スタンレー丸山がそれを見つつ、ジャンバとはロッキートップで「ジャンバラヤの巻」の略で、本来買物メモにのせるものではなく電話法文なので、スタンレーは疑問に思ったのだ。

スタンレー丸山情報！
上野は俺の庭だぜ！の巻

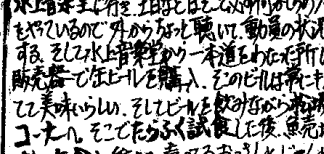
スタンレー丸山は田端に住んでいるのでサイクリングコースとして愛してやまない場所がある。そこは上野だ。

彼の上野における動きを見てみよう。

まずは上野に周辺を一周して草木のバイブレーションを感じつつ変人を観察する。「一人社交ダンスじじい」などがいるらしい。

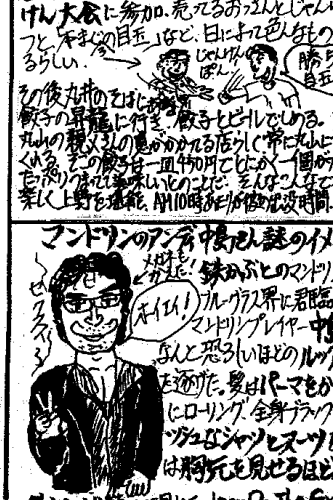


その後不忍池の端にある水上音楽堂に行き、土日などはそこで必ず何かしらのライブイベントもやっているので外からなって聴いて、動員の状況などを確認する。そして水上音楽堂から一本道をわたった所にある自動販売機で生ビールを購入。この自動販売機はキンキンに冷えて美味しいらしい。そしてビールを飲みながら池の周辺の食べ物コーナーへ。そこでたらふく試食した後、魚売場でじゃんけん大会に参加。売っているおっちゃんとじゃんけんして勝つと「本まぐろの目玉」など、日によって色々なものがもらえるらしい。



その後丸井のそばにある餃子の専門店に行き、餃子とビールでしめる。なんでも丸山の親父さんの色がかかる店らしく常に丸山にサービスしてくれる。その餃子は一皿450円でとにかく一皿の大きさがたっぷりあって美味しい店のようだ。そんな人生で今日も楽しく上野を満喫。AM10時から夕方の4時間、要チェック！

マンドリンのアンディ中島さん謎のイメチェン！

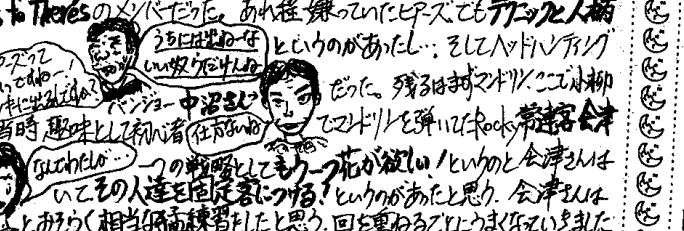


鉄板ヒロのマンドリンとして日本ブルーグラス界に君臨するジャージーマンドリンプレイヤー中島さんが突然と恐ろしいほどのルックスの変貌を遂げた。髪はパーマをかけぐるぐるにローリング。全身ブラックでスタイリッシュなジャンプスーツを着て、シャツは胸元を見せるほどボタンをオープンした状態で現れた。Keep On The Grassの時お客さんとして来店し、メンバースタッフみたいな雰囲気する中突然ドイスに座り、もちろんマンドリンで乗り入。一対後に何があったのか？理由はあなたに聞くしかないだけだが…

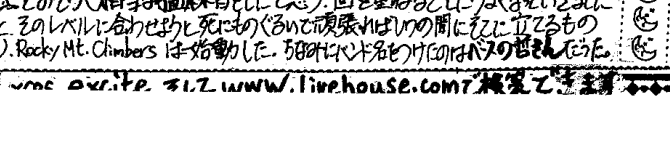
どこへ行くブルーグラス (40)

…わたくしチーフ井上がロッキートップに入りブルーグラスと出会ってからの数々の思い出をたどりながら今後ブルーグラスがどこへ行くのかを考察するコーナーだ。

Rocky Mt. Climbers結成！…マネージャー小柳さんが人生の中でしてみたかった事の一つに「**Rocky Topのハウスバンドを自らのプロデュースで作育したい**」というのがあった。Rocky Topは当時経営的に固定客も多く安定していた時期だったので小柳さんは次なる夢へステップしたのだろう。Rocky Mt. Climbersには一つの雛型がある。それはかつて女性バンドで一世を風靡したMorning Gloryだった。彼女達は小柳さんがメンバーを集めて作ったバンドではなかったがRocky Topでの毎月のライブで確実に力を蓄え育っていたのは紛れもない事実だろう。そしてそれを後押ししたのが小柳さんだった。本人もそういう自負があったと思う。その幻想(?)を追いながら小柳さんは今度はバンドメンバーを選ぶ段階からやってみたわけだ。はじめに**小野まりこ**を口説き落とし、次に次期マスターである**田口**さんを入れて、**ダブルボーカル**(デュエットバンド)という一つの柱を作ったのだ。おそらくマスターである人間が看板バンドをやる事によってマスターとしての責任感も身につき、またバンドのお客さんが自分のライブ以外の日にも足を運ぶようになる…と期待したのではないか？　次にサポートのメンバーだ。そこにはテクニックがある人間を入れて**インストナンバーもある程度聴かせなくてはならない**という思惑があったはずだ。そこに白羽の矢が立ったのがこともあろうに**Here's to Theresのメンバ**だった。あれ程嫌っていたヒアーズでも**テクニックと人柄**は認めていたのだ。かつての名言



されたのがフィドル**坂野さん**だった。残るはまずマンドリン。ここで小柳さんにはさらなる**驚異**があった。当時趣味として初心者(仕方ないね)でマンドリンを弾いていた**Rocky常連客会津さん**という女性に声をかけたのだ。



よく会社関係のグループで飲みに来てオファーを受け入れ「こりゃ！やりなきゃ！」とおそらく(相当)猛練習をしたと思う。回を重ねるごとにうまくなっていきましたから。人は無理矢理高い所に投げ出されると、そのレベルに合わせようと死にものぐるいで頑張ればいいの間にそこに立てるものなのかもしれません…。そんな会津さんの頑張りもあり、Rocky Mt. Climbersは始動した。ちなみにバンド名をつけたのは**バスの岩さん**だった。

一つの戦略としてもう一つ花が欲しい！というのと会津さんはいて、その人達を固定客につける！というのがあったと思う。会津さんはバンジョーの中沼さんとマンドリンを弾いていたRocky常連客会津さんとフィドルの坂野さんとボーカルの小野まりこ

Pick Up Live!

7/13(日) ヒタブルーグラス女性Vバン祭

出演バンド J-プロジェクト、越田家(リスタリ早いです)、ニューフィディベル、ジェリーフィッシュ、ブルーボンネッツ

B.C ¥2000　PM5:30 open 6:00 start

先着約20名様に各バンドのレパートリーの曲が入ったオムニバスCDをプレゼント！

毎年恒例のヒタライブ。女性をたくさん！たくさん！盛り上がろう！楽しい夜になりますよー！

7/17(木) TAROのブルグラスでゴロ B.C ¥2000

お相手 田川昌…南西の大御所登場！ ゴローショーのバンマス田川さんが東京へ転勤してきたところをTAROにつかまった！めったにおがめない貴重なスペシャルセッションは中島さん(ex.ロッキー)

8/23(土) アコースティックスイングスペシャルナイト

恵多ヒナクラブ ルート486…ジャズあり、映画談あり、とにかくいとも良い。そしてテクニカルな音を聴かせてくれるバンドの共演。アダルトなライブです！